

## 「大分七夕まつりオープニング市長あいさつ（8月5日）」

本日の「大分七夕まつり」に来場いただきありがとうございます。どうぞいませ。

初日の勇壮な府内戦紙などに続き、二日目には、おおいたちキリンばやし市民総踊りなどのほか、市内の山車が巡行し、各地域の伝統や文化を発信します。また、市内企業と大分大学からなる研究会の電気自動車も走行します。

先週は、「ななせの火群まつり」が開催されました。さらに、八月二十日に予定されている「本場鶴崎踊大会」など、大分市の夏を彩る歴史ある祭りが続きます。

それぞれの祭りでは、感染対策のガイドラインを作成し、食べ歩きや密になる状況を避け、参加者に健康観察をお願いするなど、感染予防対策を徹底しながら開催することとしています。

今回のオミクロン株への最強の対策は、空気の入れ替え、換気と言われています。これまで、換気のよいアウトドアで開催された「長浜まつり」「明野まつり」などのイベントでは、感染者の発生、クラスターの発生などは確認されていません。

こうした各地域で行われる特色ある祭りは、地域の活性化や絆づくり、高齢者のフレイル予防、認知症予防などの健康づくり、児童の健全育成などにつながる重要なものであります。これまで祭りに関わる皆様が育んできた伝統を大切に作る心が、次の世代へ引き継がれていくことを願っています。

結びに、コロナ禍で例年の何十倍も苦労があった関係者の皆様、地域や商店街の皆様、警察、消防の皆様にも重ねて感謝を申し上げます。